

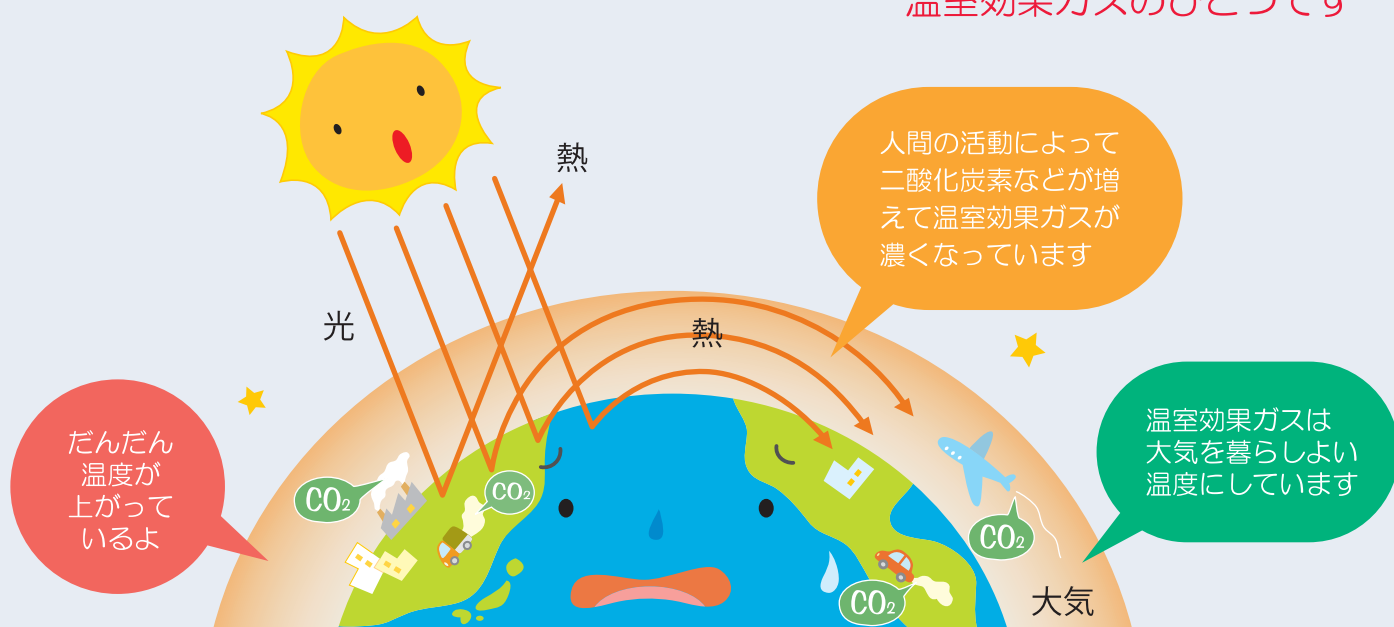
墨田区地球温暖化対策地域推進計画

みんなで取り組む すみだCO₂削減プラン

概要版

地球温暖化のメカニズム

二酸化炭素（CO₂）は
温室効果ガスのひとつです



電気・ガス・ガソリンなどのエネルギーを使うときに出る
二酸化炭素（CO₂）が地球温暖化の大きな原因です

区内から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスを削減するために
墨田区地球温暖化対策地域推進計画を策定しました

区民・事業者・滞在者・区の協力と連携により
みんなで地球温暖化防止に取り組めます

平成20年3月

墨田区

温暖化による影響

◆海面の上昇

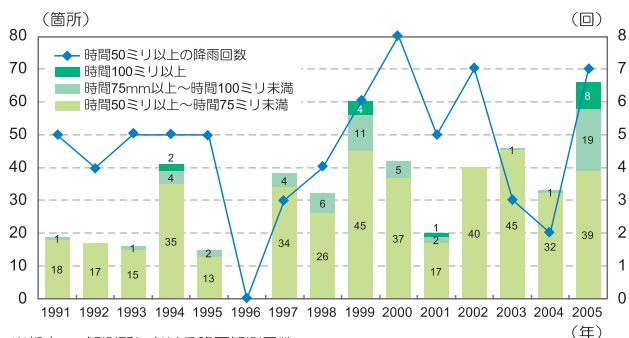


グリーンランドやヒマラヤなどの氷河がとけ、さらに海水が熱によって膨張して、海面が上昇し、サンゴ礁の島や海岸沿いの低地は水没してしまう可能性があります。

日本でも、墨田区のような海拔の低い地域は、いまの堤防のままでは洪水になるかもしれません。

◆大雨の増加

都内における時間50ミリ以上の豪雨の数



※都内117観測所における降雨観測回数
(出典) 東京都豪雨対策基本方針

日本では近年、1時間の降水量が50mmを超える大雨の発生回数が増えています。地球温暖化が進むと、集中豪雨が多く地域で発生する可能性がかなり高いと予測されています。

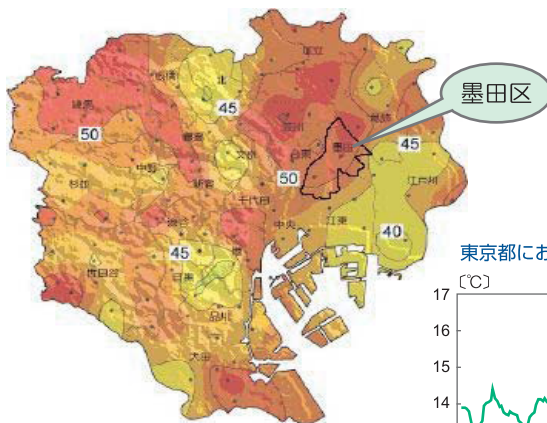
東京で時間50mmを超える大雨が観測されたのは、平成2（1990）年頃には年間延べ十数か所でしたが、平成17（2005）年には延べ66か所となっています。

◆都市の温暖化

東京では、地球温暖化と、ヒートアイランド現象という「2つの温暖化」が同時に進行していて、私達の環境に影響を与えています。

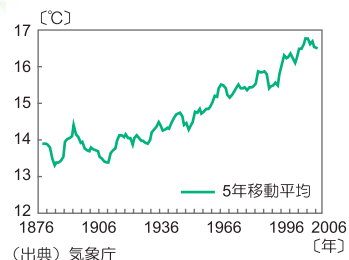
東京都の年平均気温は、この100年間で約3.0℃上昇しましたが、このうち地球温暖化の影響分は約1℃と考えられており、ヒートアイランド現象の影響は非常に大きいものとなっています。

真夏日数分布(平成16年7月20日～9月30日)



(出典) 財団法人東京都環境整備公社資料

東京都における年平均気温の推移



(出典) 気象庁

◆生態系への影響

地球温暖化の進行により、生態系にさまざまな変化を与えることが懸念されています。

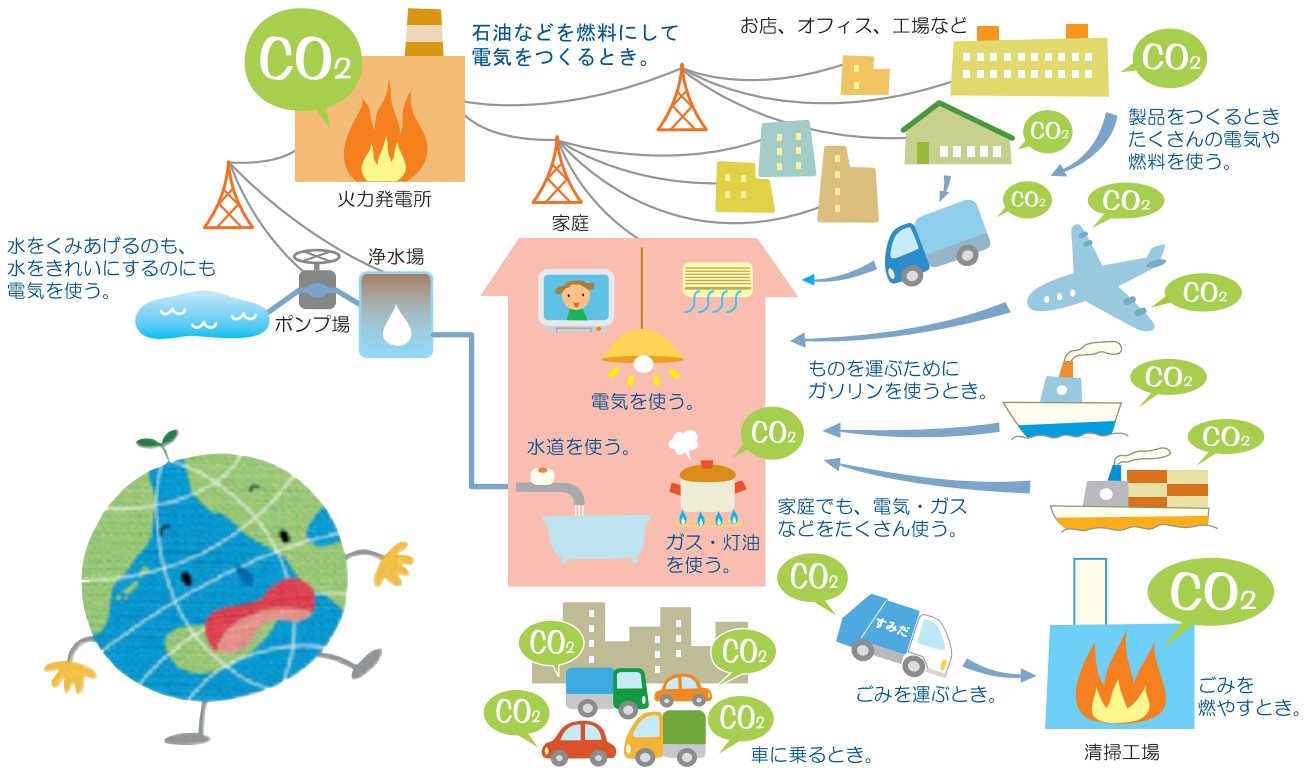
- ・森林など、植生の分布が南方系のものに変化したり、一部の種が絶滅したりします
- ・自然草原の分布や種が変わります
- ・湿地は乾燥化で狭くなったり無くなったりします
- ・高山や孤立した地域の種が絶滅します
- ・農林水産業の生産量に影響します



二酸化炭素はどこから出る？

地球温暖化の最も大きな原因となっている二酸化炭素（CO₂）は、私たちが暮らしの中で電気やガス、ガソリンなどのエネルギーを使うことによって排出されます。

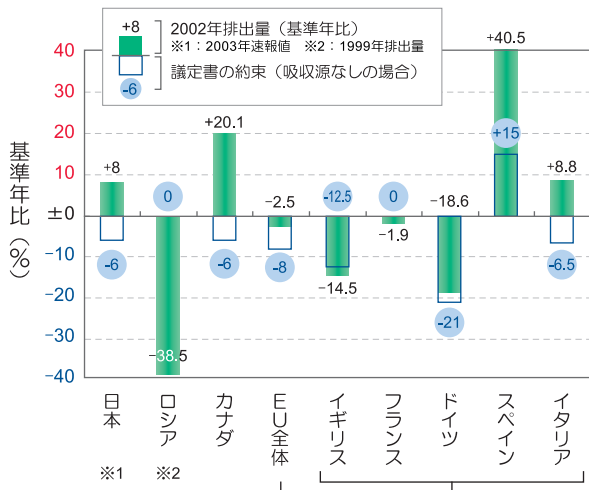
この二酸化炭素（CO₂）の排出量を減らすためには、私たち、一人ひとりが暮らし方を見直し、行動することが必要です。これにより気温や海面の上昇などの地球温暖化の影響を最小限に抑えることができます。



京都議定書での約束

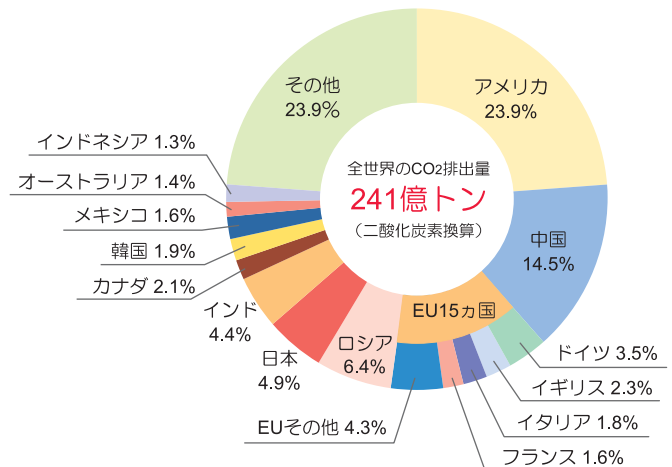
平成9（1997）年、京都で開催された「地球温暖化防止京都会議」において、「京都議定書」が採択されました。京都議定書では先進国は、平成20（2008）年～平成24（2012）年の間に、温室効果ガスの排出量を平成2（1990）年のレベルより全体で5%以上削減する約束がなされました。日本は、6%削減の約束をしています。（注：日本は暦年ではなく年度を採用しています。）

各国の約束値と温室効果ガス排出状況



(出典) 環境省「STOP THE 温暖化 2005」

国別のエネルギー起源二酸化炭素排出量 (2002年)

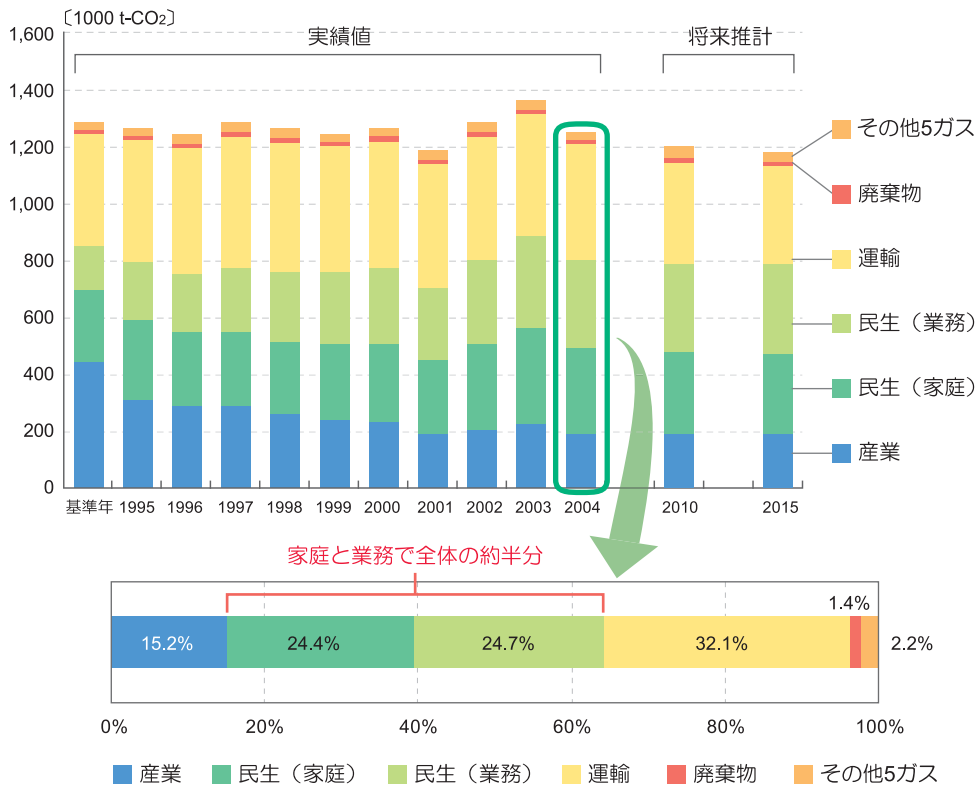


(出典) 環境省「STOP THE 温暖化 2005」

墨田区の温暖化の現状は？

平成16（2004）年度の墨田区の温室効果ガスの排出量は、基準年度比で2.7%減となっています。しかし、家庭と業務の排出量は、増え続けており、現在では家庭と業務で区の全排出量の約半分を占めています。温室効果ガス削減には、全ての人々が協働して低CO₂型の行動をとることが必要です。とりわけ温室効果ガスの排出量の増加している家庭や業務を中心とした取り組みが重要です。

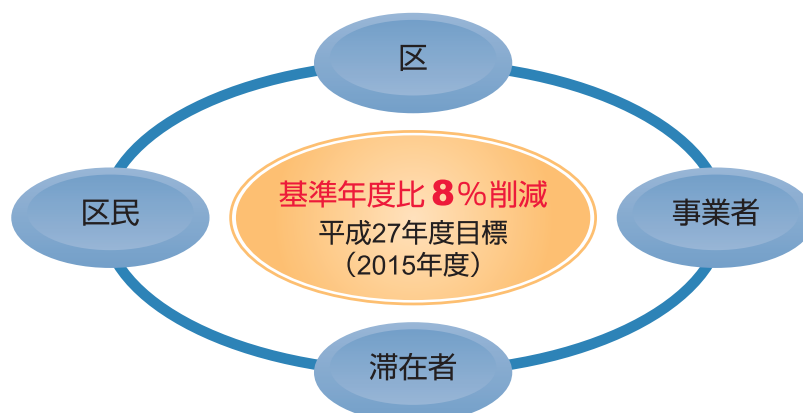
墨田区の温室効果ガス排出量の推移と平成16(2004)年度の温室効果ガス排出構成



(注) その他5ガスは、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六ふっ化硫黄の合計値
 その他5ガス以外はすべて二酸化炭素
 基準年度は、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は平成2（1990）年度、それ以外は平成7（1995）年度

墨田区の削減目標

本計画において、墨田区は、平成27（2015）年度における温室効果ガスの削減目標を基準年度比**8%削減**と決めました。墨田区では、区民、事業者、滞在者、そして区が協働し温室効果ガスの削減に向け、対策を実施していきます。



削減目標の達成に向けて

墨田区の削減目標は基準年度比8%削減と定めましたが、平成16（2004）年度の温室効果ガス排出量は基準年度を2.7%下回っており、国の目標である6%削減より達成しやすいように見えます。しかし、国は、森林吸収や京都メカニズム（排出権取引など）を利用して目標達成を目指しており、この手法を採用しない墨田区にとって目標達成は容易ではありません。

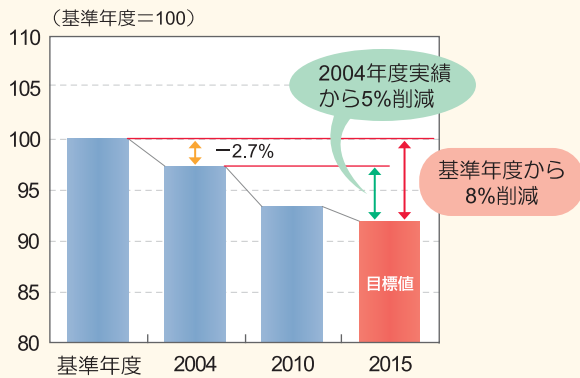
区民・事業者・滞在者・区の協力と連携による地球温暖化への取り組みが求められています。

墨田区

国

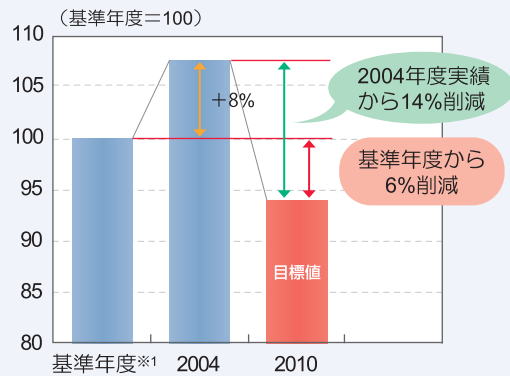
◆ 目標値の達成

墨田区の目標 基準年度比8%削減
平成27(2015)年度目標



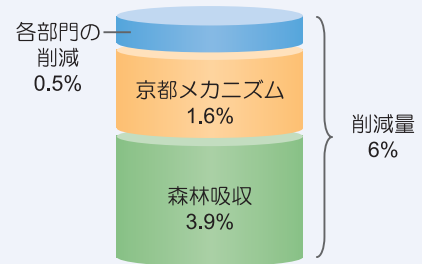
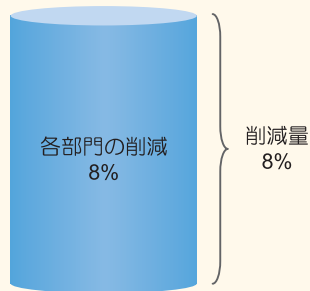
(注) 基準年度の温室効果ガス排出量を100としたときの値

国の目標 基準年度比6%削減
平成22(2010)年度目標※2



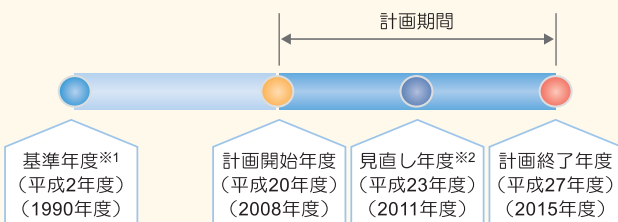
(注) ※1 基準年度の温室効果ガス排出量を100としたときの値
国の目標は京都議定書にて約束した数値
※2 実際の目標年度は平成20（2008）～平成24（2012）年度であるが、中間年である平成22（2010）年度で表記した。

◆ 目標達成に向けた削減量の内訳の比較

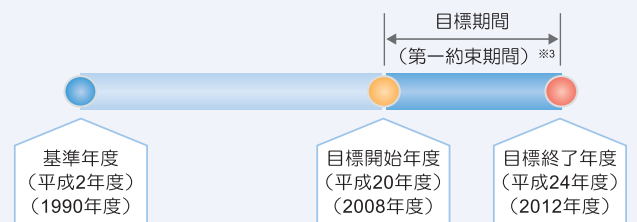


(注) 6%削減の内訳は京都議定書目標達成計画によるもので、同計画が見直されるのに伴い、数値が変わる可能性があります。

◆ 基準年度と計画期間

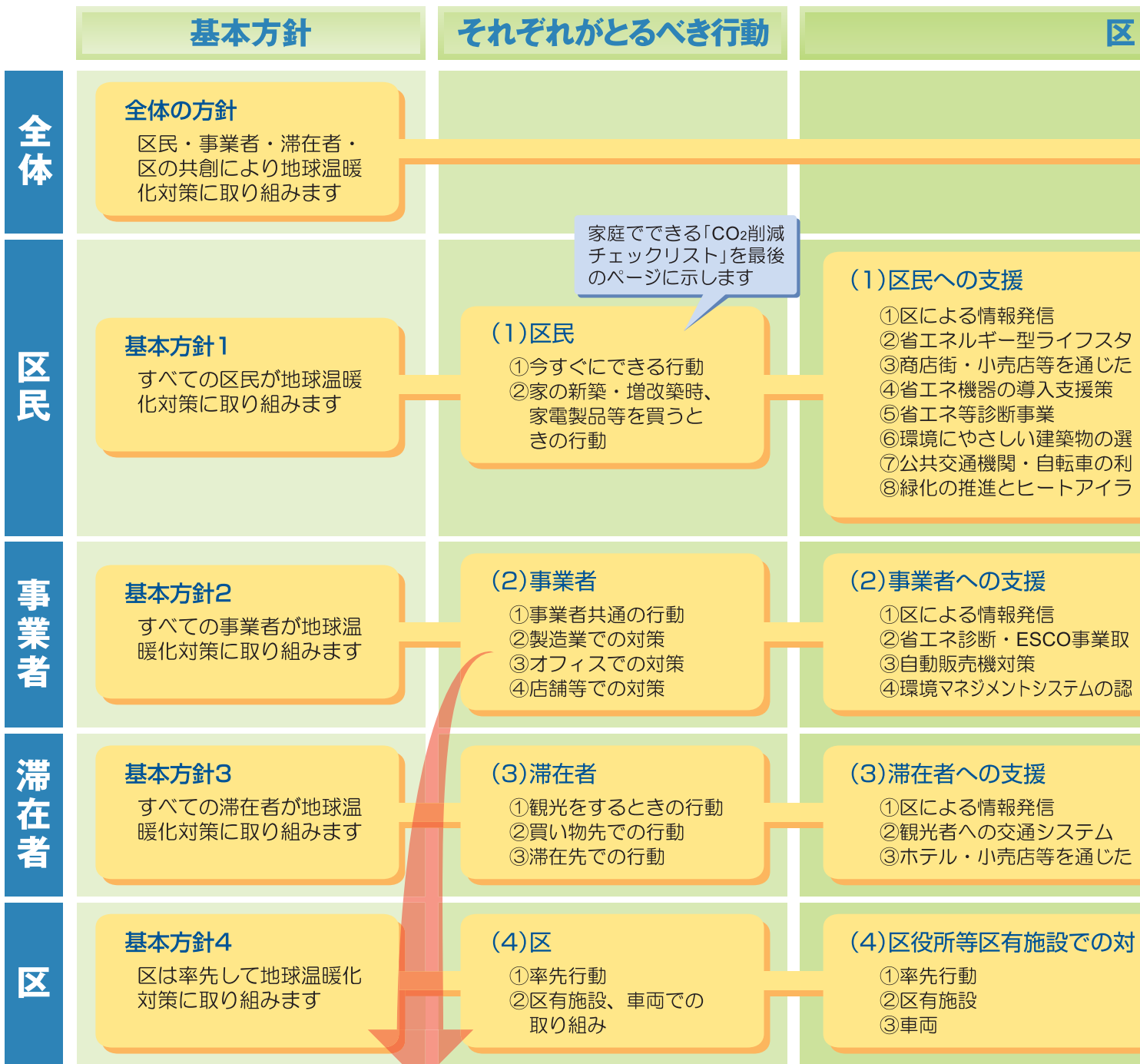


(注) ※1 基準年度は、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は平成2（1990）年度、それ以外は平成7（1995）年度
※2 社会経済情勢等の大きな変化があった場合にも見直しを行うものとします。



(注) ※3 京都議定書で定められた第一段階の目標期間は、平成20（2008）年度から平成24（2012）年度までの5年間であり、これが第一約束期間と呼ばれます。

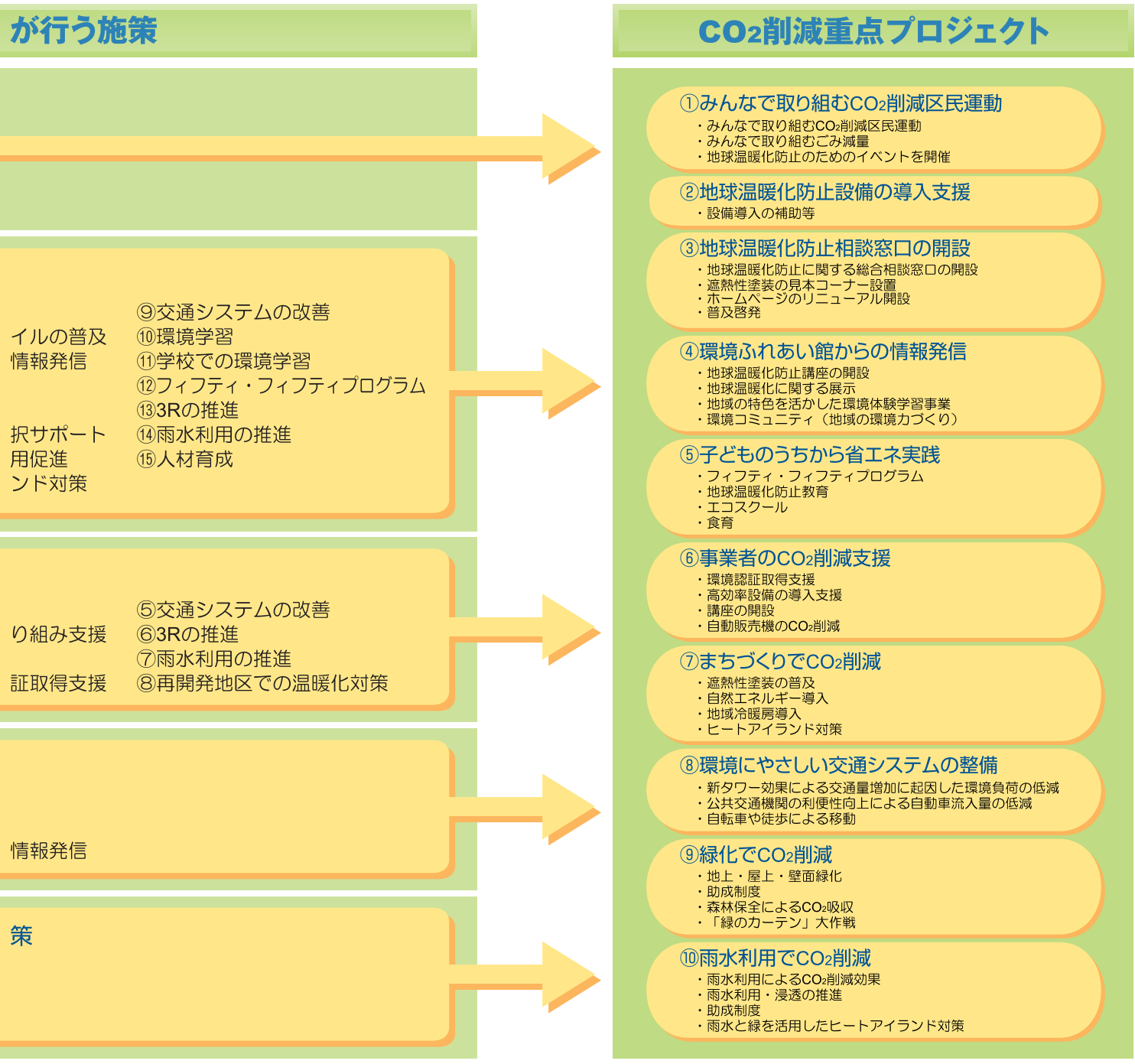
基準年度比8%削減《平成27(2015)年度にお



事業者のCO₂削

- 1 省エネ推進組織を整備（設置）する
- 2 外注先、関連会社に対し環境対策や省エネルギーの指導を実施する
- 3 従業員に対する環境教育・指導を実施する
- 4 グリーン購入・調達を推進（原料や資材は、できる限り再生品を利用）する
- 5 温暖化防止の取り組みを公表・PR（環境報告書の公表、ホームページへの掲載、発表会や講習会での講演など）する
- 6 環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21、エコステージ、グリーン経営認証など）を導入する
- 7 省エネルギー診断を実施する
- 8 省エネルギー型の機器・設備を導入する（高効率照明及び安定器、高効率変圧器、高効率空調機、業務用コージェネレーション、省エネルギー型自動販売機など）
- 9 建築物に緑のカーテン（壁面緑化）や屋上緑化を導入する
- 10 事業所内のオープンスペースへの保水性舗装、遮熱性塗装などを導入する

ける削減目標》を達成するための施策の体系



減チェックリスト

- 11 自動車にアイドリングストップ装置を設置する
- 12 低燃費車やクリーンエネルギー自動車を導入する（自動車を購入する際は、排気量の小さい車、低公害車や燃費のよい車を選ぶ）
- 13 効率的な輸送経路、共同輸送配送などにより物流の効率化を図る
- 14 空調温度を適正に保つ（暖房：20℃、冷房：28℃）
- 15 アイドリングストップを実施する
- 16 エコドライブを実施する
- 17 使っていない会議室などの消灯、昼休みの消灯を実施する
- 18 ブラインド等により温度・照明を調節する
- 19 クールビズ、ウォームビズを実施する
- 20 パソコンをつけっぱなしにしない

二酸化炭素 (CO₂) を1日1kg削減する CO₂削減区民運動にご参加ください!

家庭のCO ₂ 削減チェックリスト		CO ₂ 削減量	
		g/日	
<input type="checkbox"/>	1 暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定する	114	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	2 電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調節する	626	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	3 冷暖房機器は無駄につけばなしをしない	82	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	4 白熱球を電球型蛍光灯に買い換える	80	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	5 人のいない部屋の照明は、こまめに消灯する	20	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	6 テレビをつけばなしにしたまま、他の用事をしないようにする	42	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	7 洗いのものをする時は、給湯器の温度設定をできるだけ低くする	57	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	8 冷蔵庫の庫内の温度調整をしたり、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓する	108	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	9 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くする	17	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	10 電気ポットは夜間など、長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜く	110	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	11 洗濯する時は、まとめて洗う	6	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	12 お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしないようにする	246	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	13 シャワーはお湯を流しっぱなしにしない	60	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	14 温水洗浄便座は温度をひかえめに設定し、使わない時はふたを閉める	111	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	15 アイドリングストップを実施する	106	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	16 エコドライブを実施する	183	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	17 タイヤの空気圧は適正に保つ	98	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	18 電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくする	171	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	19 電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのものを選ぶ	404	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	20 緑のカーテン（壁面緑化）を導入する	62	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	21 太陽光発電を新たに設置する	3,077	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	22 太陽熱温水器を新たに設置する	1,671	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	23 住宅の断熱を強化する	1,978	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	24 給湯器を高効率給湯器（CO ₂ 冷媒ヒートポンプ型）に買い替える	607	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	25 給湯器を高効率給湯器（潜熱回収型）に買い替える	208	<input type="text"/>
実行する項目を合計して1日1kg削減にチャレンジ!		10,244	<input type="text"/>

